

頑張ってます…市民活動

【オレンジRUN】

えべつ共助ネットワーク

オレンジRUNは、認知症の人もそうでない人も、支援者も、家族も、一般の人も、地域の人が少しずつリレーをしながら、一つのタスキをつないでゴールを目指す認知症の啓発啓蒙を目的としたまちづくりイベントです。

江別市では2014年より開催され、認知症になっても安心して地域で暮らせる地域づくりを目指し、認知症の人と地域の人が関わり合える機会となっています。

開催から3年目となる今年度は7月2日(土)に行われました。グループホームゆうあい前を9時30分にスタートし、ゴールのグループホーム大麻ななかまどを目指していたもののあいにくの雨に見舞われ、午前の部の最終目的地である江別市教育庁舎前で終了となってしまいました。しかし参加者も応援者も共に賑わいを見せ、晴れ晴れとした雰囲気の中で行われました。



【えべつ俄(にわか)】

語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭

「えべつ俄(にわか)」とは2012年に江別市文化協会主催の土佐市との交流文化祭で上演された「北原にわか」に影響を受け、北海道初のご当地俄(にわか)として「語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭」が創作したものです。「俄(にわか)」という劇形式は漫才の初期形式とも言われる即興的な喜劇です。

昨年は断水をテーマに上演され、第4弾となる今年の演目は「北海道新幹線」。野幌に新幹線が来ると勘違いした江別のシャケ、野幌のエゾシカ、大麻のクマたちが登場し、会場の笑いを誘いました。

今年度初の「俄(にわか)」は7月2日(土)江別市セラミックアートセンターロビーにて行われた「うるうる亭公演会」で、約20名のお客様を前に新作を初披露しました。翌日は「えべつ女性協まつり」で、約500名の来場者を前に、また、7月9日(土)・10日(日)にはアートスペース外輪船で行われた「えべつ手作りフェスティバル」で披露しました。

今年度は12回の公演が予定されています。

